

昭和



議会だより

第

70

号

平成26年1月15日 12月定例会

＜群馬県昭和村議会＞



2 年頭あいさつ

3・4 12月定例会で決めたこと

5 第1回議会報告会

8～11 村の姿勢を問う

12・13 中学生議会



年頭あいさつ



議長 富夫 藤井

村民の皆様、新年明けましておめでとうございます。
輝かしい平成26年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は7月にアメリカオレゴン州、イーグルポイント市を表敬訪問しました。ラッセル市長との会談では、中学生海外派遣事業や今後の友好関係の継続発展に向け、お互い取り組んでいくことになりました。

また、10月には横浜市と友好交流協定を締結しました。横浜市とは、平成17年に災害時相互応援協定を締結しており、今後も活発な交流の推進に努めて参りたいと考えております。

本村議会では、平成24年9月に「議会基本条例」を制定し、開かれた議会に向けた取り組みの一環として、10月に「議会報告会」を3会場で開催しました。

初めての試みでしたが、多くの村民の方々のご参加をいただきました。

ところで、近年の地方分権の進展に伴い、住民に身近な基礎自治体である市区町村の役割はますます重要になっております。こうした中、本村の将来を見据えた総合計画が策定に向け、本年は本格的に始動するものと思えます。議会では、次代を担う子ども達はもとより、すべての村民の皆様が豊かさや幸せをより実感できるよう、村当局と連携を深めて参る所存です。

今後、さまざまな村政の課題の解決に向け、皆様の声を十分聞きし、しっかりとした議論を重ね、議会の改革・活性化に引き続き取り組みながら、皆様の負託に応えるべく、議会運営に当たりたいと思います。

新春に臨み、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとって大いなる飛躍の年となりますことをお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



副議長 高橋 昇三

新年明けましておめでとうございます。
村民の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、村政運営につきましては、常日頃よりご理解とご協力を賜り、御礼申し上げます。

昨年は、各地で集中豪雨や竜巻が発生し、村でも台風18号により農作物に多大な被害を受けました。地球規模で異常気象となり、世界各地で災害が発生し、経済優先の弊害がでているように思えます。今はグローバル化の中で、一国だけでは成り立たないと思います。が、国会議員の方々には国の安全と国民が安心して暮らせる国づくりに頑張ってください、その舵取りが正しく進められるよう、注視していきたいと思えます。

2020年、東京オリンピックの開催が決定し、ア

ベノミクス効果で円安株高となり、輸出産業を中心に景気も上向いているとのことですが、地方にはまだ実感がありません。村の農産物のこんにやくや野菜はまずまずの相場で終了でき、安堵しているところです。

昨年、初めて「議会報告会」を3会場で開催しました。多くの村民の方々から貴重なご意見やご要望をいただき、村政へ反映できるよう議会として行動していきたいと思えます。

村の財政も、交付金や補助金等を頼りに運営しており厳しい状況です。昨年は道路補修が各地で行われ、本年は大河原小学校大規模改修工事が予定されております。今後も、安心して生活できる村づくりを目指して頑張っていきたいと思います。皆様の更なるご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成26年が村の発展はもとより、村民皆様のますますのご繁栄の年となりますよう心からご祈念申し上げます。年頭のあいさつとさせていただきます。

12月定例会

第9分団消防ポンプ自動車購入契約を可決

12月定例会は、12月5日から13日までの9日間の会期で開催されました。初日は議長の諸般の報告の後、村長から行政報告を受け、承認1件を即日採決し、議案8件については提案理由の説明のみとし、質疑、討論、採決については最終日に行いました。また、最終日には、議案1件（公平委員会委員の選任同意について）、発議1件が上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

専決処分

一般会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ2042万円を追加し、総額は36億6022万4千円。

歳入は、地域の元氣臨時交付金3059万6千円増、財政調整基金繰入金1017万6千円減。

主な歳出は、第9分団消防ポンプ自動車購入費2030万円増など。ほかは地域の元氣臨時交付金の増額に伴う財源更生。

(全員賛成)

人事

公平委員会委員の選任同意

吉澤安太郎さんが新任されました。



(中野下)

公平委員会は、地方公共団体職員の勤務条件に関する措置の要求と、職員に対する不利益な処分を審査して、必要な措置を講ずることを職務としています。

(全員賛成)

補正予算

一般会計補正予算(第6号)

歳入歳出それぞれ2427万4千円を追加し、総額は36億8449万8千円。

主な歳入は、財政調整基金繰入金1524万8千円増、小規模農村整備事業（糸井地区）県補助金800万円増、群馬県後期高齢者医療広域連合負担金清算金567万3千円増、鳥獣害緊急総合対策事業国庫補助金

1182万円減など。

主な歳出は、パソコン購入費680万円増、子ども・子育て支援新制度に係る計画策定・電子システム構築等委託料606万9千円増、農業災害対策事業費補助金190万7千円増、保育士等処遇改善臨時特例事業補助金177万4千円増など。

(全員賛成)



鳥獣害対策は国補助から県補助へ

国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ7348万4千円を追加し、総額は11億3997万3千円。

歳入は、前年度繰越金6320万7千円増、退職者医療交付金の決定・精算により療養給付費交付金1609万3千円増、前期高齢

者交付金581万6千円減。

主な歳出は、一般被保険者療養給付費5523万7千円増、一般被保険者高額療養費700万円増、後期高齢者支援金815万3千円増など。

(全員賛成)

簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ370万円を追加し、総額は1億3282万2千円。

歳入は、簡易水道基金繰入金370万円増。

主な歳出は、電気料の増額に伴い光熱水費200万円増、修繕料100万円増など。

(全員賛成)

農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ60万円を追加し、総額は3億3060万円。

歳入は、農業集落排水事業基金繰入金60万円増。

歳出は、電気料金値上げに伴い光熱水費60万円増、修繕料200万円増、新規施設管路工事費200万円減。

(全員賛成)

条例改正

職員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正

職員の定年退職日から5年さかのぼった日から、1週間の勤務時間の一部について勤務しないことを任命権者は承認することができ

ます。但し、勤務しない時間については給与は減額され

ます。今回、地方公務員法の改正により、高齢者部分休業について法定要件に係る規定が削除されたため、対象となる年齢を現行どおり55歳と定めたもの。

(全員賛成)

税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴い、①個人村民税寄附金税額控除に係る算定方式の見直し、②個人住民税の公的年金からの特別徴収制度の見直し、③延滞金の特別措置に係る割合の見直し、④個人住民税における住宅借入金等特別税額控除の延長・拡充、⑤金融所得課税

の一体化に伴う課税方式の変更、⑥東日本大震災に係る復興支援税制の改正などを行うもの。(全員賛成)

国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の一部改正に伴うもので、所得税及び住民税において、金融商品に係る損益通算範囲の拡大や公社債等に対する課税方式が変更されることに伴い、これに準じて国民健康保険税の課税対象所得の範囲を見直すとともに、所要の規定の整備を行うもの。

(全員賛成)

意見書

環太平洋経済連携協定(TPP)交渉から即時撤退を求める意見書

TPP交渉については、農産品の重要5品目(コメ、麦、牛肉・豚肉、乳製品、サトウキビなどの甘味資源作物)及びこんにゃく芋の

関税撤廃例外措置を引き続き各国へ求めるとともに、これらの関税が撤廃され国益を損なうこととなった場合は、交渉から即時撤退するよう、内閣総理大臣ほか8人に意見書を提出。

(全員賛成)

契約

消防ポンプ自動車購入契約の締結

老朽化に伴う第9分団の消防ポンプ自動車購入について契約するもの。契約金額は1963万5千円、契約の相手方は温井自動車工業株式会社(高崎市)。

(全員賛成)



平成3年度購入の9分団消防車

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		山田博昌	加藤美昭	兵藤喜孝	加藤生	角田茂	星野吉一	横坂先夫	倉澤俊雄	中里信幸	林幸司	高橋昇三	藤井富夫
承認第6号	平成25年度一般会計補正予算(第5号)専決処分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第38号	職員の高齢者部分休業に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第39号	税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第40号	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第41号	消防ポンプ自動車購入契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第42号	平成25年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第43号	平成25年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第44号	平成25年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第45号	平成25年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第46号	公平委員会委員の選任同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
発議第5号	環太平洋経済連携協定(TPP)から即時撤退を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

第一回議会報告会を開催

本村議会では、初めてとなる「議会報告会」を全議員出席の下、10月に村内3会場で開催しました。

これは、平成24年9月に議会基本条例が制定されたことにより、村民皆さんへの説明責任を果たすとともに、

に、ご意見・ご要望などを村政や議会活動に反映させることを目的に、開催したものです。

最初に藤井議長から「議会基本条例の制定に基づき、村民皆さんに身近な議会、開かれた議会に向けた

取り組みの一環として、議会報告会を開催することになりました。皆さんからの貴重なご意見をお願いします」とあいさつがあり、次に高橋副議長から「議会報告会」について趣旨説明がありました。

続いて、各委員長が、平成24年度決算や9月定例会の議案等の審議結果、常任委員会の審査概要等について説明。その後、質疑応答

や意見交換が行われ、参加した村民の方々から、貴重なご意見等をいただきました。



地域活性化センター



昭和村役場



赤谷住民センター

開催日	開催場所	参加人数
10月12日(土)	地域活性化センター	18人
10月20日(日)	昭和村役場	14人
10月26日(土)	赤谷住民センター	19人

報告会で出された 主な意見等

- ★村ホームページについては、新しい情報を掲載してほしい。
- ★村内の防犯灯をすべてLEDに変えてほしい。
- ★村民運動会の選手集めが大変である。
- ★「わかりやすい予算書」を各区に配付してほしい。
- ★村道の改良工事は、計画的に進めてほしい。
- ★県下トップクラスの消防団なので、消防団への補助金をお願いしたい。
- ★原発を少なくするため、村でメガソーラー事業を進めてほしい。
- ★赤城北麓土地改良区の導水管はアスベストが含有されているので、伏せ替えを検討しており、村からの支援をお願いしたい。
- ★追分地内で計画されているメガソーラーの進捗状況は、どうなっているか。
- ★赤谷と追分を結ぶ「スーパード」の除雪をお願いしたい。

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

通学路安全対策の要望書を審査

12月6日、総務民生常任委員会を開催し、付託されたPTA連絡協議会から出された要望箇所について現地調査を行い、その後、審査をした。

村当局に安全対策要請

「南小学校東側の道路にグリーンベルトの設置」についての要望では、当該村道は児童約80人が通学路として利用しているが、幅員

が狭く、車両が通行すると危険である。ドライバーに通学路であることを認識させ、車両の速度を抑制させるとともに、通行帯を明確にするためグリーンベルトが必要である。なお、路面にひび割れ等が生じているため、舗装を整備した後、学童クラブから学校正面のカーブミラーまでの間、グリーンベルトを設置するよう村当局に要請した。



大河原小学校付近の村道を調査

「大河原小学校付近（学校東側道路、北側道路）の電柱等に『通学路につきスピード落とし等』の看板の設置」についての要望では、当該村道も児童の通学路として利用されているが、通学時間帯に大型トラックがスピードを出して通過するこ



幅員が狭い南小学校東側村道

とがあるため、児童の安全確保を図ることが重要である。そこで、ドライバーに徐行運転を促し、安全運転を呼びかけるため、注意看板を必要に応じて設置するよう村当局に要請した。

群馬県警本部を見学

この日は、午前中に群馬県警察本部の見学を行った。通信司令室では、1日400件の110番通報があり、3班編制の4時間交代で対応しており、夕方5時から夜8時までの時間帯が多いとのことだった。このほか、交通管制センターや展示室なども見学した。

みなさんからの請願・陳情

自 平成25年10月25日 至 平成25年11月18日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審査結果
57	H25.10.25	請願書 村道森下原10号線道路改良工事のお願いについて	隣地土地所有者代表 関上 学	加藤美昭	文教産建	採択

文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

TPP交渉撤退求める意見書を提案



森下原10号線で請願者から説明を受ける

「村道森下原10号線道路改良工事」の請願では、道路東側に設置されたU字溝が畑の土砂で埋まり、雨水が路面に溜まった状態となり、西側の畑に流れ込み、農作物に被害をもたらすことから、全会一致で採択とした。なお、今後は、地権者及び耕作者によるU字溝や流出した土砂等の管理を徹底してほしいとの意見が出された。

また、環太平洋経済連携協定（TPP）については、「関税撤廃」などの交渉は年明けとなったが、国益を損なうことが明確となった場合、交渉から即時撤退を求める意見書を政府（内閣総理大臣外8人）に対して提出するよう提案した。

12月10日に文教産建常任委員会を開催し、付託された請願2箇所、南小学校前の県道と村道の交差点に設置された信号機について現地調査を行い、その後、審査をした。

村道2路線を採択

「村道川額伏田線道路改良工事」の請願では、24年に舗装工事については採択となっているが、今回はさらに拡幅工事を含めた請願となった。当該村道は地域住民の生活道路であり、朝夕の交通量も多く、通学路として利用されていることから、全会一致で採択とした。なお、事業実施に当たっては、補助事業等についても検討してほしいとの意見が出された。

南小前の信号機を調査



南小学校前の県道に設置された信号機

58	H25.11.12	請願書 村道川額伏田線道路改良工事のお願いについて	川額区長 竹之内重秋	倉澤俊雄	文教産建	採択
59	H25.11.18 (郵送)	「全国一斉学力テスト」学校別結果公表反対を求める陳情	全群馬教職員組合 代表 石田 清人		配布のみ	

一般質問

若い人の新築住宅取得に 100万円の助成を



加藤 生 議員

問

若い人たちが昭和村に定住し、人口の増加を図り活力ある村づくりを推進していくために昭和村若者定住促進新築住宅等取得助成事業を実施して頂きたい。

助成金額はおおむね百万円を限度とし、45歳未満、住宅取得等に100万円以上の費用を要し床面積が280平方メートル以下であり昭和村に住所があり地元自治会に加入するなどの条件を満たす。

答 村 長

たした方に交付。村の人口増加を図っていく考えはあるのか村長の考えを聞きたい。

定住化促進や人口増加を図る上で新築住宅への助成事業は非常に有効的な事業ではないかと考えておりましたので、調査研究をするように職員に指示をし今後取り組んで行きたい。

問

年々減少していく保育園児。子ども達がたくさんいるほど村の将来は明るいわけです。

また村長公約である保育料の無料化に向けての取り組みとして、半額で実施した場合は、村の支援金額は総額でいくらになるのか。

また、おむつ給付を実施する考えはあるのか、お聞かせ願いたい。

答 村 長

私の選挙公約の中に子育て支援がありました現在の保育料金を半額にした場合の簡易算式では6760万円となりますので、子育て支援金も含めた中で今後の予算もあるので実施が出来るように努力したい。

おむつ給付については、できるだけ早くに実施できるように進めたい。

中学生議会で質問のあった防犯灯の早急な整備とガードレールの設置は

問

あかぎチキンからの坂道2箇所には防犯灯の設置をして欲しいと1組2組の中学生議員の質問があった。行政区と行政区の狭間になっている箇所については村で設置し早急な登下校の安全確保を。また全村の防犯灯を村費でLED化対応の機器と交換をすべきである。

答 村 長

それから中学生からのガードレールの要望があったが、自転車通学を考えるとより安全な転落防止柵の設置を求めるが村長の考えは。

また、行政区の境界については村で設置したい。

村内全域の防犯灯のLED化に向けての機器の交換について村で出来る様に検討したい。転落防止柵は現状の道路にそのまま設置することで新たな問題が生じることでないよう現地を精査した上で検討したい。



未来を担う保育園児

姿勢問

村太陽光発電事業の導入を求める



角田 茂 議員



昨年11月に開所した「サンファーム千年の森 昭和」

問

村では、太陽光発電事業はしないとのことだが、原発に変わるクリーンエネルギーとして、国が大変力を入れている。

中之条町では、小水力発電が認可され、2力所も町の太陽光発電が稼働となる。年間発電量が243万キロで売電単価42

円を乗すると、約1億200万円の収入となる。

売電が20年続くと20億4千万円の収入となり、工事費が8億円とすると、利益は12億円となる。こんなすばらしい事業があるのに、なぜ村はやらないのか。村有地の賃貸だけでは、20年間で7000万円の収入であ

答 村 長

るが、どう考えるのか。

村の事業としてのメガソーラー施設の設置については、会社設立における投資など多額の費用や、電力買取価格20年という電力事業である専門的分野のリスク等、それらを踏まえた中で、経済の動向や電気事業法の今後の改正も視野に入れ、

検討・協議をしていきたいと考えています。

また、村有地を貸して発電事業をしてもらうのが、いいのではないかといいご意見の中で進めてきたところです。自主財源の確保という面では、さまざまな方法があると考えており、村が太陽光発電事業を行うということは、現段階では考えにくいと思います。

今後の財政運営の見通しは

問

村の運営については、村税と交付金等で賄われているが、これで保育料の無料化や高校生への支援バスの無料化などできないと思う。また、村には赤字事業が山積しており、それらをどう処理していくのか。

答 村 長

依然として地方交付税等の依存財源に頼っていますが、関屋工業団地の税収増等により、自主財

源の比率は上がっており、平成19年度から財政調整基金は取り崩しておりませんが、財政は厳しい状況ですので、これからも収入増と健全財政を図り、住民サービスの向上に努めていきたいと考えています。赤字事業については、必要である事業と不必要な事業を見極め、皆さんと智恵を出し合い、より良い方向へ持っていきたいと思っています。

一般質問

敬老祝金4千円は削減前に戻して



林 幸司 議員

問

行革で、75歳を80歳からにし、5年前からは、削減額は子育てに使うからと、心ない一律2割カットが強行された。

大幅黒字決算が続いているのだから削減前に戻すべきでは。せめて不評な4千円だけでも早急に戻せないか。

答 村 長

4千円について、苦情は耳にしています。報告はありません。

他市町村より支給額は上位にあり、4千円だけ上げてほかは上げないのも不公平感があり、お年寄りも増えるので、十分検討させていただきたいと思っています。

敬老バス助成を

全村民対象に拡充を

問

高校生の通学支援にもなるので、みなかみ町で喜ばれている全住民対象のバスカード割引・助成事業を本村でも実施できないか。

の利用ニーズや助成額等の検討をしていきたいと考えています。

答 村 長

3千円のカードに1千3百円を助成し、昨年度は608枚、90人が購入。全村民を対象にした場合



利用者増が望まれる路線バス

防犯灯LED化と

費用全額村負担へ

問

住民の安全・安心を守る公共設備なのに、行政区まかせて設置数や住民負担に大きな格差が生じている。設置・維持・管理費用の全額を村負担とし、826カ所全てをLED化できないか。

答 村 長

村内全域のLED化に向けて調査・研究を指示したので、その結果を踏まえ検討していきたいと思っています。

地域で維持・管理していただく自助が防犯力の向上にもつながると思うので、引き続き行政区で負担していただきたいと思っています。

問

来年度予算編成にあたり、保育料無料化など、村民に約束された公約をどのように具体化されるの

村内防犯灯数

設置別	設置数
行政区	659
村管理	167
合計	826

防犯灯LED化による電気料軽減額の試算 (12月現在の単価)

料金の区分	月額料金	年額換算	826基の年額
現在の20W防犯灯	271円13銭	3,252円	約269万円
10WまでのLED	140円09銭	1,680円	約139万円
LED化による差額	131円04銭	1,572円	約130万円

答 村 長

か決意を伺いたい。

来年度の重点事業というところで課長会議で提案し検討・研究させていきます。これらを盛り込み、村民の皆様にも約束した公約の実現に向けて邁進していく所存です。



兵藤 喜孝 議員

姿勢問う

これからの農業を 考える組織づくりを

問

今、村の基幹産業である農業において、TPPの問題、地球温暖化、企業参入など様々な問題を抱えている。これからの農業を考える中で、可能性を最大限に生かした戦略的な取組が必要ではないか。

しかし、村では農畜産物のブランド化、6次産業化、農業体験の推進など多くの提案があつたと思うが検討中を含め積極的に取り組んでいないのが現実である。その一番の理由として対応してくる人材を確保できていないことが原因だと思つた。それには、村が呼び掛けて戦略的な取組ができる組織をつくる必要があると思う。ボランティア組織ではなく、仕事場として成り立つ組織づくり、また、人材確保においては高齢化社会に対応した雇用を考え、60歳以上の方々がよいと思う。活気ある農業の村を守り続けるためにも長年培った経験や知識、そし

答 村 長

て仕事に関して職人の厳しさをあわせ持った方々に協力をいただき同時に生きがいにも繋がる組織づくりを求めるが。

農産物のブランド化につきましては、昭和村の野菜はJAの出荷の他に、民間の出荷組合や、生産者自らが出荷組合を作り出荷するなど、形態も多様化しております。独自のブランド名を付けて販売をしているところもあります。また、食の安全として環境保全型農業を行っている生産者や、食の安全、環境保全、労働安全のため独自に生産管理工程を定め、ブランド化を図っている団体・生産者がいますが、今後は、本村全体による食の安全のため、個人にも生産管理工程の記帳を推進し、ブランド化を図るよう努めていきたい。次に、6次産業化につきましては、「旬菜館」が開業し、生産者が販売単

価を決め、販売すること、販路の拡大に繋がり、自ら生産したこんにゃく芋を加工して販売を始めた方も現れました。

また、「さくら工房」では、5部門で加工・販売を行っており、「あぐりーむ館」では農家の奥さんを中心に「農家レストラン」を開業しました。そして、村内の農業が「総合開業計画」に係わる認定」を受け、計画を進めています。6次産業化への取組に意欲のある事業者が現れており、今後の躍進を期待しています。



観光農業が期待される道の駅「あぐりーむ昭和」

好評を得ており、村としても力を入れていきたい。以上のことを踏まえ、農産物のブランド化、6次産業化、農業体験の推進等は、一定の効果があつたと考えますが、更なる事業推進のため、経験豊かな60歳以上の組織づくりは、今後、検討していきたい。

中学生議会

1組



11月19日に9回目となる「中学生議会」が開かれ、参加した8人の生徒から感想をお寄せいただきました。

池田 誠宣 しげのぶ



議長を務めました
が、議長席は一番高
いところにあつて、
村長さんも僕に向
かつて礼をしたので、とても偉い人
になったように感じ、嬉しい気持ち
でした。間違えてもいいから、思いつ
きり声を出して元気よくやろうと考
えていました。その結果、一言もか
まずに言えました。また、本番で言
うことが増えても臨機応変に対応で
きたので、ほっとしました。

人前で、しかも一番目立つところ
で立派に話すことができたので、こ
れからの生活にとっても良い影響を与
えたのではないかと思います。今
回の議会で良かったところはそのま
ま、悪かったところはまた見直した
いです。そして、今後の面接練習な
どで力を発揮できるように、中学生
議会をやれたことに感謝し、自分に
自信を持って頑張りたいです。

今成 脩造 しゅうぞう



私は11月19日に行
われた中学生議会に
出ました。議場に
入ったとき、異様な
雰囲気包まれているのを感じまし
た。発表する準備はできていました
が、次第に不安や緊張感が出てきて

「大丈夫かな？」という気持ちも高ま
りましたが、無事に提案することが
できました。

中学生議会をとおして気づいたこ
とがあります。「礼儀」「態度」。この
2つが大事だと言うことです。いく
ら発表が良くても、この2つが揃っ
ていないとダメだなと思いました。

今、少子高齢化が問題になってい
ますが、その前に、今の若者がこの
ことについて考え、意識し、行動に
移していくことが大切だと感じてい
ます。

津久井 華穂 かほ



私は、身近なこと
で昭和村をより良く
するためのことがた
くさんあることに気
づきました。これがあつたら便利だ
と思う提案は、言うことは簡単なこ
とだけど、実行することはとても難
しいと思いました。実行するにあ
たってたくさん費用がかかる上
に、村民全員の意見を聞かなければ
なりません。だから、私たちも少し
でも多くの提案が採用されるよう
に行動していきたいです。小さ
な昭和村だと思っていなければ意外
にも大きくいろいろな視点から見
ることができました。この学習を通
して昭和村のことについてとても考

え

られたんだと思います。このことを
実行せずに、言っただけで終わりに
するのではなく、10年後、20年後、
30年後、もつと未来まで、ずっと住
んでいけるような村にするため
に、みんなでできることから始めて
いきたいと思います。

諸田 友歌 ともか



私たちが議場で提
案することは、今ま
でもこれからも一度
きりの貴重なことな
ので、とても緊張しました。私たち
が考えた質問、提案に対して、一つ
一つ丁寧に回答してくれてすごいと
思いました。それを聞いて、私たち
が提案した事柄には多額のお金がか
かり、実現が難しそうだということ
を知りました。初めは、提案を実現
させるためにかかるお金のことにはあ
まり考えずに話し合いを進めて決め
ていました。そして、いざ議会で提
案をしたら、お金の問題に気がつき
ました。どんな時でも、お金の配慮
をしながら提案を考えなければいけ
ない。このことが一番重要で、難し
いと思いました。

今回の私たちの提案で、村にとつ
てプラスになることが少なからず
あつて、今後のより良い発展に繋が
ることを心から願っています。

中学生議会

2組



永井 健



役場の中に入ったのは、これで二回目ですが、いざ中学生議会が始まるとたくさんの議員さんや村長さんがいて緊張してしまい、「発言中にかんではまったらしよう」と思いました。が、議会が進むにつれて少しずつリラックスすることができ、しっかりと自分の提案を言うことができました。

この中学生議会で驚いたことは、みんなそれぞれ、たくさんアイデアを出していたのに一人一人丁寧に答えてくださったので、中学生の僕でも理解することができました。

今回、この中学生議会を通して提案したことも、今はまだ予算がいろいろ課題があつて実現できないけれど、いずれ実現して、日本から注目され、昭和村がもっと活性化すれば良いなと思っています。

根岸 明人



今回の中学生議会を終えて、感じたことがありました。特に、アドリブでの力が鍛えられたのではないかと思っています。私達は、これから面接の機会が数多くあります。そのため、意

見を述べるという貴重な経験以外にも、これから役立たせられる体験になったと思いました。

また、私は昭和村について、まだまだ知らないことがたくさんあると思いました。だから今回は、それを知るよい機会になったと思いました。そしてそれは、私達がこれから強調していかなければいけないことの一つでもあると思います。

今回の中学生議会では、自分達が地域の目線で見えるきっかけになったと思います。だから、自分達にとつてとても有益なものとなりました。本当にありがとうございました。

阿部 奈々美



私は、中学生議会を体験して、大人、または世の中の難しさを身をもって感じました。

一番思ったことは、「議員さんは大変だ」ということです。議会をするにあたり、質問や提案するための内容の下調べが思っていたより難しく、時間がかかったからです。普段からそのようなことをしてから議会をしているのだと思うと、議員さん達の苦勞を感じることができました。

この中学生議会は私にとって初め

ての場、経験だったので、とても新鮮な気持ちになり、将来役立つ、とても良い経験になりました。

中学生が出した提案が活かされ、これからの昭和村に繋がりを、今後、より良い村になって欲しいと思います。

堤 悠希乃



今回の中学生議会では私達は多くの提案をしたが、私達が思うほど提案はすぐには実行されないのだと思った。村には予算の問題など、さまざまな問題があることを改めて実感した。でも実行するにあたり、どんな問題があるかと言うことを知るのも大切だと思う。

私達はこの議会に向けて提案などを考えることや例えを用意したりと準備することがたくさんあり、まとめるのも大変だった。でも、その提案を村長さんや教育長さんに丁寧に答えていただき、学ぶことが多かった。

私達が提案したことは実行して欲しいけど、昭和村の自然の美しさを生かせるようなことを実行して欲しいと思った。これからも「日本一美しい村」として輝いていて欲しい。

若者定住促進事業などを視察

10月9日から11日にかけて、総務民生常任委員会で奈良・和歌山2県の行政視察を行った。

奈良県広陵町

広陵町は大阪市へ直線距離で30kmと近く、人口は3万4000人。奈良県の町村では最も人口が多く、現在も増え続けている。須山古墳を代表とした数々の古墳群や、寺社仏閣の多い歴史あふれる町であり、竹取物語の舞台となり、「かぐや姫のまち」でもある。町では、災害に強い町づくりを



「災害に強い町づくり」について研修(広陵町)

目指しており、自主防災組織結成や活動事業に補助金を出し、9割の団体が結成している。

そして、防災倉庫の設置に補助金を出し推進している。それ以外にも、防災士の養成や地元企業と防災協定の締結を行っている。

また、RDF炭化方式によるごみ処理施設があり、環境を考えた取組みも積極的に行っている。

和歌山県印南町

印南町は、和歌山県西部海岸のほぼ中央に位置し、面積の73%を森林が占め、「真妻わさび」や「かつお節」の発祥の地である。海岸の美観、岩礁に黒潮打ち寄せる景観は、南紀最高の景勝地であり、数々の歴史や伝説、熊野詣の各王子跡が昔の面影を留めている。全国に類を見ないユニークな橋として、「考える」「人をかえる」「町をかえる」「古里へかえる」「栄える」の5つのキーワードとして「かえる橋」が町のシンボルとなっている。町では、人口減少対策として、若者定住促進事業を進めており、賃貸住宅等家賃助成や新築住宅等



若者定住促進のための賃貸住宅(印南町)

取得助成を行っており、住宅の取得や改築費に1000万円以上かかった場合、上限で100万円の助成を受けられる。

また、子ども医療費18歳まで無料化、幼保一元化施設を開園、縁結び事業など、若者のことを考えた取組みを積極的に行っていた。また、先を考えた大規模宅地造成事業、空き家バンク制度、コミュニティバスの運行など、町がしっかりと柱を立て、目指す方向性を決め、町づくりに取り組んでいることを強く感じた。

島根県飯南町議会が来村



藤井議長が歓迎のあいさつ

11月26日、島根県飯南町議会が行政視察のため来村した。飯南町は、広島県との県境、中国山地の脊梁部に位置し、約90%を山林・原野が占めている。人口は5390人。この日は、藤井議長、堤村長による歓迎のあいさつの後、各担当職員が農業振興施策や、住民と行政との協働による行政運営、子育て支援、議会活性化の取組みなどについて説明。その後、各町村の実情などについて意見交換を行った。

「伝わる広報」へ編集技術を学ぶ

全国町村議会広報研修会

9月30日・10月1日にわたり、東京・シエーンパツハ・サポールで全国町村議会広報研修会が開催された。

研修会には、本村広報編集委員が参加。初日は、文章表現イ

ンストラクターの山田ズーニー氏による「通じる・人を動かす！文章を書く」と題して講義があり、コミュニケーション力が通じる7つの要件について、「書く人が信頼されていれば、言葉は届きやすくなる。信頼性を高めながら伝える工夫が大切だ」と、読者に読んでもらえる議会の文章の書き方を述べられた。

また、武蔵野美術大学教授である長澤忠徳氏による「広報紙面デザインの基礎知識」では、書体は同一系ファミリー書体で統一することなどを学んだ。

写真家の神島美明氏による「デジタル時代の写真術」では、話しかけをしながら写る人との信頼関係を引き出すことや、データの記録保存方法まで講習を受けた。

2日目には、広報コン

サルタントである深沢徹氏による本村議会だより65号のクリニックがあり、きめ細かく編集の実技指導を受けた。

群馬県町村議会広報研修会

11月27日、群馬県市町村会館で、群馬県町村議会広報研修会が行われ、広報編集委員が参加した。

編集・出版アドバイザーである芳野政明氏が「伝える広報から伝わる広報」と題し、「議会広報が自治体情報の媒体となってきた。メディアからの注目度が上がってきた。重要な役割を果たしている」と述べられた。

議会改革と広報改革は一体と言われている、議会広報が自治体情報の主役となるよう、「住民目線」「住民参加」を念頭に、読者の立場に立った編集、読み手となる議会広報を心掛けた。



関係者約1,700人が出席した全国大会

道州制導入反対の特別決議など可決

11月13日、東京・NHKホールで行われた町村議会議長全国大会に、議長をはじめ議員11人が参加した。

全国町村議会議長会は、町村議会議長のための全国的連合組織であり、政府・国会に対し、政策提案や要望活動などを行っている。

この日は、来賓として出席した安倍首相や石破幹事長等が祝辞を述べ、大会の大切さを痛感した。議事の中でも、道州制導入に断固反対する特別決議においては、ひととき声が大きく、活気のある大会となった。



今回の「みんなの声」も前回に引き続き、4月13日開催の「さくらの木記念植樹」に参加された若いカップルに登場していただきました。

昭和村の感想



石井隆行さん 綾子さん 夫妻(中野下)

私は去年の4月に結婚をして、夫の実家である昭和村での生活がスタートしました。

昭和村に初めて来たとき、家の周辺は畑だらけで驚きました。農家に嫁ぎ農作業を体験をして、新鮮な出来事がたくさんありました。夏のある日、朝早くからあちらこちらで投光器を付けて収穫作業をしているのを見たとき、何事かと驚いたことは今でも鮮明に覚えています。

最近の出来事では、7月に出産をして毎日が大変ですが、家の近所に育児の相談ができる心強い友達も増え、毎日が充実しています。昭和村は自然を身近に感じ、静かで環境もよく、育児に最適かと思

いました。

今は育児中心の生活になっていますが、これからも昭和村のイベントに積極的に参加をして、人々との繋がりを大切に、楽しく生活していきたいと思っています。

昭和村に来てみて



牧野康二さん 陽子さん 夫妻(追分)

私が6年前、初めて昭和村を訪れてびっくりしたことは、山が多く自然が多かったことです。辺り一面に多くの方が農業に従事している姿を見て、自然と心が温かい気持ちになりました。

また、「野菜王国昭和村」と言われるだけあり、多くの野菜を身近で作っているのを見たり、食べたりすることができました。さらに、レタスの朝取りのアルバイト

私は、昨年の11月から結婚を機に、昭和村での生活が始まりました。今年の6月には、長男が生まれ、賑やかな毎日を送っています。育



大塚 匠さん 夫妻(赤城原第1)

私たち家族のこれから

の経験もできました。夜中の2時に起きて、6時くらいまでの朝取りの仕事は、大変でもありました。朝を迎えると同時に見る日の出は、最高に綺麗で感動的なものであり、すがすがしい気分と充実のあるものでした。

こんな素晴らしい昭和村に来て、毎日が発見と感動です。これからも、昭和村の一員として貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

児をするにあたり、昭和村の第一保育園と子育て保育園では、支援センターという整った施設があり、いつも利用させてもらっています。育児を行うにあたって、色々な不安なこと・悩んでいることなど他のママさん方や先生方に相談できる、とても有り難い施設です。

先日、甥っ子が、夜発熱してしまい、市内で乳児を見てもらえそうな病院に何件か電話をしました。ですが、どこの病院も乳児は診てもらえず、結局、渋川市にある小児医療センターまで行ってみてもらいました。結果、何も異常はなくて良かったのですが、もし、何かあったとき、近くの病院で診てもらえないとなると、とても不安なことだと思いました。

これからずっと昭和村で暮らしていくうえで、大事な子供にもし何かあったとき、頼れるような施設があれば、私たち夫婦としてすごく安心です。

昭和村では、たくさんの方の行事を通して、若妻会や地域の人たちとの繋がりを強く感じます。

これからは、家族はもちろん、地域の人々との繋がりがややかな自然を大切にしていき、より良い昭和村にしていきたいと思っています。

議会の動き

10月

- 15日 ●利根郡定例議長会
広域圏定例議員協議会
- 17日 ●群馬県町村議会議長会役員会
- 20日 ●第1回議会報告会(役場)
- 24日 ●群馬県町村議会議員研修会
- 25日 ●議会全員協議会
- 26日 ●第1回議会報告会(赤谷住民センター)

11月

- 1日 ●「サンファーム千年の森 昭和」開所式
- 3日 ●村内バレーボール大会
- 5日 ●秋の道路愛護巡視
- 7日 ●玉村町議会との交流会
- 12日 ●利根郡定例議長会
利根沼田学校組合議会議員協議会
広域圏定例議員協議会
農産物等盗難防止パトロール隊出発式
- 13日 ●町村議会議長全国大会(NHKホール)

- 14日～12月2日 ●農産物等盗難防止パトロール(4日間)
- 19日 ●中学生模擬議会
議会全員協議会
- 22日 ●国道120号椎坂バイパス開通式
群馬県知事との懇談会
- 22～23日 ●村文化祭
- 25日 ●広域圏議会定例会
利根沼田学校組合議会定例会
沼田市外二箇村施設組合議会定例会
- 26日 ●島根県飯南町議会行政視察来村
議会運営委員会
- 27日 ●群馬県町村議会議長会広報研修会
- 28日 ●議会全員協議会
議会広報編集特別委員会
- 30日 ●東京都板橋区立志村第5小学校開校70周年記念式典

12月

- 5日 ●第5回議会定例会
本会議(初日)
- 6日 ●総務民生常任委員会
- 9日 ●議会全員協議会
- 10日 ●文教産建常任委員会

- 11日 ●村産業青年海外派遣推進委員会
- 13日 ●本会議(最終日)
- 16日 ●議会広報編集特別委員会
- 19日 ●村健康づくり推進協議会
- 24日 ●議会広報編集特別委員会
村農業振興地域整備促進協議会(後期)
- 25日 ●村社会福祉協議会理事会

1月

- 6日 ●議会広報編集特別委員会
- 8日 ●群馬県議会新春交流会
上毛新聞社新年交歓会
- 10日 ●群馬県町村議会議長会定例会
利根沼田農業協同組合新年祝賀会
- 11日 ●村消防団出初式
- 12日 ●村成人式
- 13日 ●村賀詞交歓会
- 14日 ●利根郡定例議長会
広域圏定例議員協議会
利根郡町村会新年懇話会
- 15日 ●群馬県市町村トップセミナー

地域でがんばる人

倉澤 恵子さん (宮戸)

時は11月7日、26日。今年から「ふる里ふれ合い学習」の依頼が南小学校からあり、老人会婦人部の役員さんと「うどん作り」「こんにやく作り」に参加してきました。

子供たちは役員さんの指導を受け、手順よく作業を進めていきました。すると、こしのあるうどんの出来上がり、出来上がり！



試食時には感想を話しながら、とても和やかな雰囲気、ホットな気分になさせていただきました。

また、手作りの「こんにやく」も家へ持ち帰って食べたら、すごく美味しくて「また作ってみようね。」と家族の会話も弾んだそうです。(お礼の手紙より)

行事に参加し、学校や先生、地域の子供達に対する意識や関心が高まり、健全な地域を作るためにも「やっぱり婦人会。今こそ婦人会」が幅広く活動しなくては…と思う今日この頃です。



こんにやく作りに真剣な表情の子供たち

冬の健康ちよつとレシピ

(昭和村管理栄養士 堤 梨紗)

材料(6個分)

小松菜(又はほうれん草)…60g、バナナ…1本、牛乳…150g、バター…16g、ホットケーキミックス…100g

作り方

- ①小松菜はゆでておく。
- ②ゆでた小松菜、バナナ、牛乳をミキサーにかける。
- ③ボウルに②、溶かしバターを入れ、よく混ぜる。
さらにホットケーキミックスを加え、よく混ぜ合わせる。
- ④カップに③の生地を入れ、170度に予熱したオーブンで15～20分ほど焼く。

栄養価(1人分)

熱量…120kcal、たんぱく質：2.7g、脂質：3.8g、カルシウム：74mg



ワンポイントアドバイス

- ・バナナの甘さで野菜が苦手な子どもでもおいしく食べられるおやつです。
- ・冬が旬の小松菜は、鉄分やカルシウムが豊富な野菜です。また、ビタミンCも豊富で風邪予防や美容に効果あり！

緑のバナナケーキ

編集室から

平成25年は、台風・水害等多くの自然災害が全国各地で発生した年でした。幸い、本村では少ない被害で済みましたが、常に備えは万全にしておきたいものです。

ところで、ノーベル平和賞を受賞した南アフリカのネルソン・マンデラ氏が昨年12月、死去されました。反アパルトヘイト(人種隔離政策)闘争で獄中生活を送り、その間も平和を訴え続けました。武力闘争を放棄し、白人政権との対話を提唱、選挙による政権交代を実現しました。世界に内戦や紛争がある今、マンデラ氏の精神を学ぶことにより、平和な国・社会づくりが実現できるのではないのでしょうか。

星野 吉一 記

議会広報編集特別委員会

委員長 加藤 美昭

副委員長 兵藤 喜孝

委員

倉澤 俊雄 角田 茂

加藤 生 星野 吉一

山田 博昌 藤井 富夫

高橋 昇三